

服飾デザイン科

って

どんなところ？



ファッションの力

皆さんは普段、服をどのように選んでいますか。たかが服、されど服。お気に入りの服を着ることで元気になったり勇気が出たりした経験はありませんか。時には服の色やスタイルで、喜びや悲しみ、もっと言うとその人の生き方や価値観を表現したりすることもあります。ファッションには人生を豊かにする力があるのです。

ファッションを学ぼう！

服飾デザイン科は、一人ひとりの個性を伸ばし、ファッション業界で活躍できる人材を育成します。

1. 専門科目について

デザイン ・ 縫製 ・ 専門知識 を3本柱に

基礎をしっかり勉強し、スペシャリストとしての

技術力 ・ 創造力 ・ 人間力 を育てます。

2. 服飾デザイン科ってこんなところ！



□基礎から学べます。

服飾デザイン科では服を作るために必要なミシンの使い方、手縫い、デッサン、デザイン画の描き方など、すべて基礎から学べます。また、考える力や継続力も養い、創造性を高めていきます。



□充実した施設・設備が学習をバックアップします。

被服製作の授業では1人1台ミシンを使うことができます。ロックミシンやアイロンも十分に備えてあるので、授業中に順番待ちという無駄な時間はありません。



□社会人講師が実践的な授業を行います。

1年生から3年生まで、毎週ファッション業界の第一線で活躍するプロのデザイナーや専門学校の講師の先生を招いた授業があります。高度な技術だけでなく、興味深いファッション業界の最先端の話も聞くことができます。



□選択科目で深めます。

2年生から選択科目があります。もっと服飾について深めたいという人は、2年生で3単位、3年生で最大13単位服飾デザイン科の授業を選択することができます。



□現場実習で進路意識を高めます。

2年生では「現場実習」というインターンシップが6日間あります。実践活動を通して専門分野に関する知識や技術を学び、進路意識の啓発につなげます。服飾デザイン科ではアパレル企業（企画・縫製補助）、ユニホーム会社（商品管理・販売）等で実習を行っています。



□生徒企画のファッションショーで作品の発表を行います。

学習成果を発表する場として、年に2回のファッションショーを行います。演出、照明、モデル、ヘアメイク等すべて生徒が作り上げています。仲間同士が協力し、助け合うことの大切さを学ぶことができ、生徒が大きく成長する場でもあります。必見です！



□資格取得、コンテストへの応募、上級学校との連携にも力を入れています。

【検定】被服検定・色彩能力検定

文化服装学院で行われる「ファッション職業教育講座」にも積極的に参加しています。



第54回全国ファッションデザインコンテスト
高校生デザイン画の部 杉野芳子賞

3. 卒業後の道

吉野 智咲 よしの ちさき 平成28年卒業
文化学園大学 現代文化学部 国際ファッション文化学科
さいたま市立馬宮中学校出身

私は映画、舞台衣装に携わる仕事に就くために、高校生のうちから服飾を学びたいと思って服飾デザイン科に入学しました。在学中は多くの課題を同時進行で進めなければならないので、自分の作業スピード、時間を把握して計画を立てる力が自然と身につきました。これは現在とても役立っていて、大学で出るレポート、課題、試験などを時間を有効的に使って計画的にやりくりすることができています。また在学中に縫製のコツや課題を効率的にやる方法を教えてもらっていたので、大学の造形の課題も丁寧に早く終わらせられて、先生に名前を覚えてもらえやすいです。服飾デザイン科で学んだことが、今や他の人との差をつける武器にもなっているので入学してよかったと思っています。



高原英子 たかはら えいこ 平成21年卒業
株式会社サードオフィス デザイナー
川口市立仲町中学校出身

服デを卒業後、株式会社バイクルーズで4年間ブランドのデザイナーを務め、ステップアップの為に転職し今はODMデザイナーとして複数ブランドに向けた企画・デザイン・生産・納品まで携わっています。『この業界で生きていく気合い』を服デ生活で身に付けました。10代の頃から、近い目標の友人と切磋琢磨出来る経験は、新総にしかない力だと思っています。洋服の基礎知識を学ぶのは、専門学校でも遅くありません。でも、デザイナーは人に伝え、表現をし、価値を商品に込める、とても繊細で厳しい仕事です。服デでも毎日笑って泣いて、駆け抜けました。今もずっと毎日夢を追いかけながらデザイナーとして生きていく事が楽しくて、そして精一杯です。それが辛くないのは、『周りとの協力し刺激を受けて、成長するパワー』にみなぎる3年間があったからこそです！



藤川 果奈 ふじかわ かな 平成27年卒業
株式会社 辻洋装店 アトリ工縫製部
和光市立大和中学校出身

服飾デザイン科を卒業して(株)辻洋装店に就職しました。高級婦人服を主に扱っている縫製工場で縫製・アイロンを担当しています。服デでは道具の名称等、一から服飾について教えて頂けるので、大学・専門卒が大半の職場でも差をほとんど感じる事がなく、仕事をする上で自信に繋がっています。また複数の課題を進めながら学ぶことで「やりたいこととやるべきこと」の区別、何を優先すべきなのかを見分ける判断力が身につきました。服デで学んでなければ今の職場には就けてなかったと思うので、いい環境で学ぶことができて良かったと思っています。

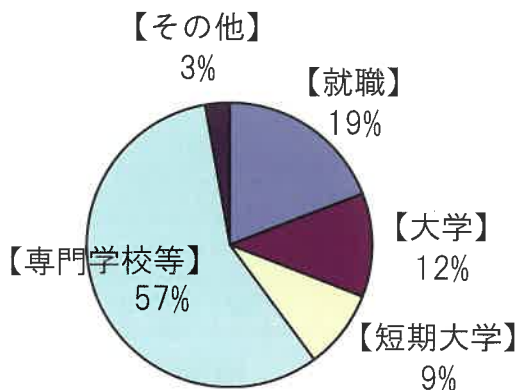


森 由香 もり ゆか 平成21年卒業
東京都立特別支援学校 教諭
鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校出身

都内の特別支援学校で教諭をしています。教科は家庭科で卒業後に役立つよう実践的なことを中心に指導しています。また、卒業後の就労に向けて食品に関する専門的な授業も行っています。私は高校の時、服作りやデザインなど物事に対し常に「なぜそうなるのか」とたくさん疑問を持ちながら授業を受けていました。そして、必ず疑問に思ったことは納得するまで先生方に確認したり質問をさせていただきました。先生方はどんな細かいことでも丁寧に教えてくださりました。先生方のおかげで、今教壇に立ち生徒を指導する上で生徒にもなぜそうなるのか、しっかりと理由を伝えながら授業を進めることができています。服デは自分を高め、相手を思いやる力をつけることができる場だと私は感じています。



卒業時の進路状況【過去5年間の主な進路先】



- 〈大学〉
文化学園大学 杉野服飾大学 東京家政大学 実践女子大学
跡見学園女子大学 女子美術大学 他
- 〈短大〉
杉野服飾短期大学 秋草学園短期大学 実践女子短期大学
聖徳短期大学 目白短期大学 大妻女子短期大学 他
- 〈専門学校〉
文化服装学院 ドレスメーカー学院 織田ファッション専門学校
東京服飾専門学校 ESMOD JAPON ヒコ・みずのジュエリーカレッジ
東京ビューティーアート専門学校 東京モード学園 他
- 〈就職〉
(株)イーストボーイ (株)辻洋装店 (株)福装 花菱縫製(株)
(株)シアス キール (株)そごう・西武 他



高校卒業生を対象とした県立デザイン学校《デザイン専攻科》

新座総合には、県在住の高校卒業生を対象とした2年制のデザイン学校、デザイン専攻科が併設されています。1学年15名という公立学校ならではの少人数制で、一人ひとりの個性を伸ばし、確実な技術の習得を図ります。
【専攻：ファッションデザインコース/プロダクトデザインコース/ヴィジュアルデザインコース】

